

とんど



第4回定例会

決まったこと 2019年度補正予算 >>> P.2

主な質疑・条例改正等 >>> P.3

一般質問 2人が町政を問う >>> P.5

委員会報告 総務厚生・産業他 >>> P.8

管外視察報告 議員研修(岐阜県飛騨市・長野県木曾町) >>> P.10

まちの元気 地域おこし協力隊 布川 智恵子さん >>> P.12

1月15日、いきいきこども館で「とんど焼き」が行われました。

補正予算 防霜ファン設置、 大型バス受入れ対策など追加

12月定例議会を、12月12日に開会、19日閉会の日程で開催しました。各常任委員長等から閉会中の委員会審査や連合議会、一部事務組合の報告を行い、一般質問では2人の議員が質問しました。また町長提出の令和元年度補正予算（一般会計と国保、簡易水道、下水道、介護保険の各特別会計）、条例の制定及び改定6件、契約締結、人事案件等を審議、可決しました。議員提出の2件の意見書は1件を可決しました。

令和元年度補正予算で

は、一般会計で4567万円、特別会計合計で5241万4千円が補正され、主に一般会計の補正内容について審議が行われました。

昨年の晩霜被害をうけ、茶園環境改善事業として1.4ha規模の茶園への防霜ファン設置に対する補助286万円が計上されました。関連して収入保険の加入が6軒との報告がありました。



防霜ファン

大型観光バスをグリーンティ和東裏の駐車場に誘導するためのガラスハウス移設・改修、舗装改良工事に



ガラスハウスを撤去

710万円を計上。年度内の完了を求める問いに町は「年度内の完了に努力する」と答弁。なお、当初ハウスは移設し再設置する予定でしたが老朽化が激しく撤去し、新たに野菜直売所を設置する予定です。

水道料金の値上げ 計画見直しも？

簡易水道会計に関連し、町が進める水道料金値上げについて質疑が行われ、その中で担当課から「再度、試算をし直している」と計画見直しを示唆する答弁が

ありました。

質疑では水道委員会での議論の中で、町が「80〜85%アップしないと赤字にならない」等と発言し、これまでの25%値上げの計画との違いが明らかになりました。町は想定以上の人口減少や維持管理面での新たな経費の発生等を理由にあげ、それを踏まえて試算をし直しているとしました。いずれにしても根本的な計画の見直しが必至の状況です。

質疑では情報公開の不十分さも議論となり、町は住民や議会に進んで情報を提供し説明責任を果たすよう求める意見も出されました。



条例の制定・改正

○印鑑条例を改正

登録資格の「成年被後見人」を「意思能力を有しない者」に変更。

○災害弔慰金の支給条例を改正

関係条項の変更。

○会計年度任用職員の給与、費用弁償に関する条例を制定
詳細は次ページで紹介。

○地方公務員法、地方自治法の改正にともなう関係

条例の整備条例の制定
新設の会計年度任用職員制度と現行の関係条例との整合性を図る。

○常勤の特別職（町長や議員等）の給与、旅費に関する条例を改正
する条例を改正

人事院勧告等に基づく12月期末手当の引上げ、6月と12月期末手当支給率を同率に改定。

○職員給与に関する条例を改正

人事院勧告等に基づく12月勤勉手当の引上げ、住居手当支給の基準・支給額の変更など。



補正予算 Q & A

問 橋梁点検調査業務委託の内容は。

答 石寺地内の久保橋、滝ノ下西橋の改修にむけた調査。



問 今年のふるさと納税の寄付金の額は。

答 総額で40万円となっている。

問 寄付金を増やす対策は。

答 目的の明確化とホームページのリニューアルを行いたい。

問 地域公共交通会議とは。

答 道路運送法に基づく協議会でカートの自家用有償運送にむけた協議を行う。

問 年度内に公共交通の方向性が出るのか。

答 カート運行、奈良交通バスの利用対策を検討している。

問 負担と利便性の両立が利用される公共交通の力ギでは。

答 核となる必要があるが、奈良交通の決められた運賃で営業しているので安くするのは困難。

問 税住民課の窓口業務延長の利用状況は。何名体制か。

答 2人体制で月2回実施している。1回あたり1人未満程度。

問 コンビニでの住民票等の交付の検討は。

答 システム構築のコストが高く研究が必要。

問 墓地整備事業の内容は。

答 白栖区の墓地の木を伐採する。補助率は2分の1。

問 保育所の耐震化、移転等の議論の状況は。



和東保育園

答 まだ調査中で結論は出ていない。移設も含め検討している。

問 特定健診の圏域での実施が議論されているが。

答 保健所単位の医療圏での受診を可能にする議論。

問 子どもの国保税均等割の廃止や減免の検討を。

答 早期には踏み切れないが考えていきたい。

問 児童クラブの保育料引下げを。

答 保育体制維持を大事にしながらかえていきたい。

問 整備予定の即売所では地元野菜を扱うのか。

答 町内の野菜を販売したい。

問 活性化対策での修繕費の内容は。

答 運動公園の時計を修繕する。



運動公園内のこわれた時計

会計年度任用職員制度・関係条例を可決 4月施行へ



役場で雇用されている臨時職員（嘱託、アルバイト、パート等）が来年度（4月1日～）から制度が変わり「会計年度任用職員」となります。

主な内容は次のとおりです。

①「フルタイム」（週38時間45分）と「パートタイム」（週38時間45分未満）の2種類に分類される。

②任用期間は原則1年ですが再任は可能です。

③昇給が認められ期末手当が支給されます。パート職員も週2日勤務から支給対象になります。

【主な質疑】

Q. 職員団体等との協議は。

A. 1月中に臨時職員に説明します。

Q. 制度移行により不利益を生じることなく適正な勤務条件が確保されるのか。

A. 法律の趣旨を理解してやっていく必要がある。

Q. 同じ働き方なのに給料が減ることはないか。

A. 必要な人員の確保に努めたい。



意見書

第4回定例会(12月)に次のとおり意見書が提出され②の意見書は所管大臣等に送付しました。

①高齢者医療、介護の負担増に反対する意見書

提案者 岡本正意 議員

賛成者 3人
反対者 6人

②「桜を見る会」疑惑の徹底究明を求める意見書

提案者 岡本正意 議員

賛成者 5人
反対者 4人

人権擁護委員の推薦について

任期満了に伴い、次の方の選任について諮問があり、再任することで答申しました。

渡邊 隆一郎 氏(白栖)

消防委員会委員の委嘱について

任期満了に伴い、次の方を委員に委嘱しました。

岡田 周一氏(別所) 西島 剛 氏(白栖)
谷本 昌隆氏(下島) 谷村 正己氏(原山)
竹内 秀年氏(園) 大谷 毅 氏(湯船)
北 昇 氏(中) 村田 良光氏(釜塚)
松谷 正樹氏(湯船)

町有財産管理委員会委員の委嘱について

任期満了に伴い、次の方を委員に委嘱しました。

林 辰男氏(石寺) 岸田 清一氏(釜塚)
杉本 則行氏(中) 藤田 敏幸氏(湯船)
中井 喜彦氏(原山) 大西 峰夫氏(杣田)
渡邊 弘史氏(白栖)

各議員の賛否

令和元年第3回臨時会(11月)及び第4回定例会(12月)に提案された議案のうち賛否がわかれたもの。

審議結果	会議区分	議案名	議員名									
			岡田 勇	高山 豊彦	藤井 清隆	村山 一彦	吉田 哲也	井上 武津男	岡田 泰正	岡本 正意	畑 武志	小西 啓
可決	本	和東町簡易水道統合事業 中央浄水場他緊急遮断弁等機械電気設備更新及び施設整備工事に係る請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
否決	本	高齢者医療、介護の負担増に反対する意見書	○	×	×	×	×	×	×	○	○	-
可決	本	「桜を見る会」疑惑の徹底究明を求める意見書	×	×	○	○	○	×	×	○	○	-

※会議区分 本は本会議 ○は賛成 ×は反対 -は採決に加わらない。
小西啓議長は本会議の採決に加わらない。

11月臨時会で決まったこと

○公共土木施設災害復旧事業「白栖別所線地すべりが起因する道路災害復旧工事」に係る工事請負契約の変更について

消費税率(8%↓10%)改正に伴い契約金額の変更。

○和東町簡易水道統合事業中央浄水場他緊急遮断弁等機械電気設備更新及び施設整備工事に係る請負契約の締結について

・契約金額

1億5488万円(消費税含む)

・契約の相手方

理水化学株式会社大阪支店

・契約の方法

一般競争入札

・工期

令和元年11月9日から
令和2年3月31日

・工事内容

取水棟・浄水場機械設備更新工事
(中央浄水場)

中央監視機能増設等工事(中央浄水場)

残留塩素計更新工事(原山加圧ポンプ所、中部配水場、城山高区配水場)

緊急遮断弁等更新等工事(中央浄水場、中部配水場、城山高区配水場)

施設整備工事(中央浄水場管理棟建築設備、各水槽外壁塗装等)

施設整備工事(中央浄水場管理棟建築設備、各水槽外壁塗装等)

一般質問

町政を問う！ 提案する！

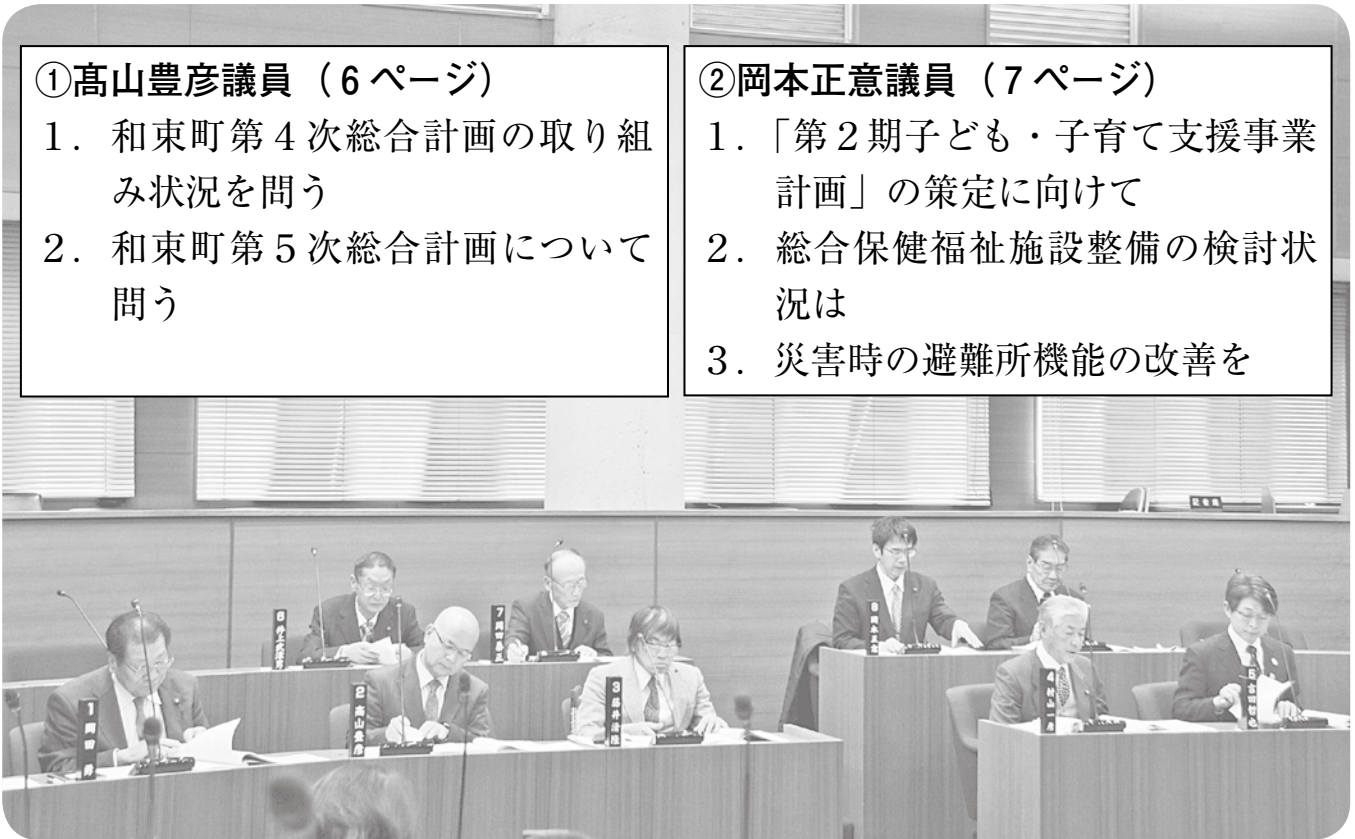
12月12日に行った一般質問には、2人の議員が質問に立ち、町長等に対して様々な課題についてたどしました。各議員の質問項目を紹介します。

①高山豊彦議員（6ページ）

1. 和東町第4次総合計画の取り組み状況を問う
2. 和東町第5次総合計画について問う

②岡本正意議員（7ページ）

1. 「第2期子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けて
2. 総合保健福祉施設整備の検討状況は
3. 災害時の避難所機能の改善を



一般質問は、町の行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。

質問時間は答弁を含め1時間以内で、時間内に何度でも質問できます。記事は質問順で、内容は本人から提出された要約原稿です。

詳細は、後日ホームページに掲載する議事録でご確認ください。



問

第4次総合計画のまちづくりについて総合的な見解は

答

交流人口増や和東茶ブランド化などで活気や賑わいが生まれてきた。犬打トンネルが活性化の起爆剤となる。

第4次総合計画の取り組み状況を問う

問

定住促進のための住宅施策の取り組みは。

答 建設事業課長

町営住宅は低所得者向けとして整備されてきたが、若年層入居への施策の充実など、関係課と連携を取りながら検討していきたい。

問

グリーンズローモビリティの実証実験による利用状況及び住民の評価は。

答 地域力推進課長

町内の医療機関や商店、奈良交通のバスに接続するルート運行、11月25日から12月9日までの乗車人数



高山 豊彦 議員

は8人で、「家の近くで乗降できありがたい」「反対コースもあればいい」などの意見があった。

問

住民の移動手段となる交通施策の考えは。

答 総務課長

スローモビリティの実証実験の結果や、奈良交通の利用実態を踏まえ、和東町路線バス等対策協議会、和東町地域公共交通会議で財政負担を考慮しながら検討を進めたい。

問

観光等交流人口及び関係人口拡大への取り組みは。

答 地域力推進課長

茶畑景観を軸として観光誘致を進めており、茶処和東として和東茶ブランドのPR等、様々な機会をとおりして茶文化や生業景観を国内外へPRし交流人口と関係人口拡大につなげたい。

問

ワーケーション(※)自治体協議会への参加の考えは。

答 地域力推進課長

観光事業を委託している事業者と調整をしながら進めていきたい。

問

今後の町道整備計画は。

答 建設事業課長

お茶の里ひらくグリーンロード21計画に沿って、白栖別所線、童仙房線、山口線を整備、門前橋の架け替え拡幅工事が今年度完了予定。また、橋梁大規模改修として祝橋が令和4年度、石寺橋が令和5年度を目的に完了する計画で進めている。なお、西和東地区の町道は老朽化が著しく地元から要望がある。交付金や補助事業、他の事業との効果的、効果的な整備を進めたい。

問

高齢者等のごみ処理問題の検討状況、今後の考えは。

答 町長

ホームヘルプサービスによるごみ出しの家事援助があるが、地域包括ケアとして地域住民や各種団体の総合協力によるまちづくりを進めている。

問

茶農家の後継者対策と茶産業の維持の取り組みは。

答 農村振興課長

青年農業後継者が加入する組織の活動に助成金を交付し、農業技術習得・地域貢献、仲間づくりなどに取り組みんでいただいている。

和東町第5次総合計画について問う

問

次期総合計画の策定は業者に委ねるのか、今後どのように進めていくのか。

答 町長

和東町総合計画審議会、住民アンケートやワークショップ、各種団体へのヒアリングなど、様々な機会を通じて住民のご意見を伺い、国や京都府など上位計画と合わせながら進めたい。

※ワーケーションとはワーク(仕事)とバケーション(休暇)を合わせた造語

問 想定する機能やサービスの充実の方向性は。

答 福祉課長

診療所等の現行施設の機能とともに、保健センター、交流スペース等を想定し検討している。

問

建設候補地の検討状況と町の考え方は。

答 町長

利便性など検討し住民が望む方向で考えている。

問

浸水想定地域での新施設整備はリスクが高い。住民の命、安全が一番の軸ではないか。

答 町長

利便性は外せない。危険な場合は閉鎖する事も基準になる。

問

スタッフの確保、育成の方向性は。

答 町長

現行施設のスタッフ中心に配置し、府等と協議し募集する。

問

PFI等の民間活用の方

答 町長

え方は。今後の検討課題。

より良い子ども・子育て支援計画を

問

次期計画の目標、充実すべき課題は。

答 福祉課長

子育て包括支援センターを立上げ、切れ目のないフォロー体制を整備する。

問

「遊び場、公園がない」この声にどうこたえるか。

答 福祉課長

各区の公園、子ども館、運動公園の利用を。総合保健福祉施設でのスペースも検討したい。

問

運動公園の充実、遊具の

改善を。

答 福祉課長

担当課と協議する。遊具の点検を行いたい。

問

医療、特に救急医療体制の充実。

答 福祉課長

山城、学研都市、田辺中央の各病院で体制をとっている。

問

相楽圏内で対応できる体制整備を。

答 町長

山城病院で充実させた。

問

経済的負担の軽減を具体的にどう進めるか。

答 町長

今後も財政状況を見定めながら具体化したい。

避難所機能の充実を

問

適温食提供やアレルギーへの配慮を行う体制整備は。

答 総務課長

停電時もプロパンガスでの加熱が可能。アレルギー成分のないアルファ米を備蓄している。

問

簡易ベッドや畳の備蓄、確保は。

答 総務課長

ベッドは来年度予算で一定数を確保。畳は府との協定に基づき確保する。

問

プライベート確保のための簡易テント等の備蓄を。

答 総務課長

備蓄はなく当面自助での対応をお願いする。

問

小中学校の体育館に空調設備を。

答 町長

多額の改修費用が見込まれるので有利な財源確保など必要に応じ協議する。

問

総合保健福祉施設の整備場所、内容の検討状況は

答

利便性などを考慮、意見を精査し進めている



岡本 正意 議員

総務厚生常任委員会

**災害対策用
備蓄品の充実を図る**

委員長 **岡田泰正**

12月2日に令和元年度事業の進捗状況を中心に事務調査を行いました。

総務課

○茶源郷まつりは2日間で約1万4000人を迎え大盛況だった。

○新総合計画と第2期地方創生総合戦略を一体的に策定するため業者を選定した。

○運転免許証自主返納支援事業では11人の方から返納があった。

○災害対策用備蓄品購入事業では各公民館に備蓄している飲料水や非常食を更新し、エアーマットを新規購入した。今年度中に防災ハザードマップを作成する。

住民課

○子育て支援事業では0歳から15歳までの医療費受

総務厚生常任委員会

災害対策用
備蓄品の充実を図る

委員長 岡田泰正

給者は276名、高校生の受給者は80名だった。人間ドックに138名の申し込みがあり、特定診断・個別検診では332名が受診した。

福祉課

○介護保険事業ほか、例年どおりの進捗状況である。

委員からの意見や質問

問 未来づくりセンターで検討されているシルバー人材センターの進捗状況は。

答 南山城村のセンターをベースに前向きに検討している。

問 各公民館にAEDの設置が必要では。

答 コミュニティ助成を活用し費用負担について区と相談したい。

問 茶源郷まつりでの営農組合の参加が少なくなっているが、今後の住民参加の

取組みは。

答 組合員の高齢化や減少がみられ、今後は各区と相談し盛り上げていきたい。

問 地下式防火水槽の増設計画は。

答 区の要望に基づき計画的に進めたい。

問 避難所用段ボールベツドの購入予定は。

答 予算の範囲内で検討。

問 非常食のアレルギー対策は。

答 アレルギーを含まないものも準備しており、事前に確認し対応する。

問 臨時財政対策債の現在残額は。

答 平成30年度末現在で約11億6500万円となっている。

問 国民健康保険証と国民健康保険前期高齢者受給者証の一体化もしくは同等サービスに改良はできないか。

答 国が2022年度にマイナンバーカードに健康保険証等の機能を持たせることを検討しており、その際に見直したい。

問 居宅介護福祉用品購入に伴う受領委任払いの検討結果は。

答 令和2年1月から現行制度と選択できる形で実施する。

一部事務組合議会報告

相楽郡広域事務組合議会

11月19日に第2回定例会が開催され、杉浦代表理事から大谷処理場基幹的設備改良事業は着工し、10月23日に処理能力の変更と焼却炉の廃止に伴う変更届を山城南保健所長に提出したと報告があった。

相楽消費者センターでの上半期の相談件数は317件、相楽休日応急診療所での上半期の受診者は447人となった。

相楽地域における諸課題を検討する「広域圏事業の今後のあり方検討会」を設置する。また、今定例会では議長の選挙が行われ精華町議会の三原和久氏が当選した。平成30年度一般会計決算認定、平成30年度相楽地区ふるさと市町村圏振興事業特別会計決算認定を賛成者全員で可決された。

相楽中部消防組合議会

11月26日に第2回定例会が開催され、河井管理者から副管理者に平沼南山城村長が就任、奈良市とのはしごつき消防自動車共同整備について、令和元年度緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練への参加について報告があった。

管内ガソリンスタンドに対し、容器に入れて販売する際、購入者の身元や購入目的を確認し記録するよう要請。消費税及び地方消費税の税率の引き上げに伴う手数料条例改正と一般会計決算、一般会計補正予算、火災予防条例の改正について、賛成者全員で可決した。

- グリーンズローモビリティは、9月から11月まで24回運行で、215人の乗車があり、11月25日より、
- グリーンズローモビリティは、9月から11月まで24回運行で、215人の乗車があり、11月25日より、
- 観光案内所来場者数は、10月までで4214人、教育観光は、10団体947人を受け入れた。
- いいとこ和東PR事業で郷土料理などのコンテンツが実施され14点の応募があった。
- 移住促進住宅整備事業補助金として、計画書を釜塚で1件申請中。

地域力推進課

12月3日に本年度の予算執行状況・事業の進捗状況について報告があった。

- 重要な文化的景観の選定を目指し、原山・白栖・湯船の建物や農家の聞き取り調査を実施。
- ワイルドマスターズゲームズ大会コース整備では、保安林解除予告通告を受け、工事を入札。12月19日より工事着工予定。
- 豊かな森を育てる府民税交付金事業では、町有林の間伐、林道の危険木の伐採・倒木の撤去を委託。
- 消費税増税対策で実施している。プレミアム商品券事業は商工会へ委託。
- 練越災害復旧事業は、一部工事を残し完成済で、

建設事業課

農村振興課

産業常任委員会

グリーンズローモビリティで無償実証実験を実施

委員長 **吉田哲也**

- 年内に全て終了予定。
- 別所地内の地すべり災害復旧工事も工事着工。
- 撰原・園の災害復旧工事は査定を終え、工事発注を準備中。
- 簡易水道事業は、練越分工事は9月30日完成。

委員からの意見や質問

- 国は地方に目を向けていると言うが、民営化推進の流れなど自治体のあり方が問われているのではないか。
- 銀行の閉店やATM撤去、店舗の廃業など地域経済の現状認識は。
- 料金値上げを審議している水道委員会の情報公開を。
- 「お茶の駅構想プロジェクト」が未執行だが、今後の予定は。
- 荒廃農地の草刈りは。
- 住宅使用料の滞納状況や滞納者への対応は。
- 府道木津信楽線の通行障害となっている立木の伐採。
- などの意見が出されました。

一部事務組合議会報告

山城病院組合議会

11月11日に開催され、河井管理者より前回定例会後の組合の動きについて報告があった後、定例会への提出議案の説明が行われ審議しました。

今回の議案は①消費税率引上げに伴う条例改正(専決処分)の承認②平成30年度病院決算認定。前年度より約9750万円の収支改善で約350万円の黒字③平成30年度介護老人保健施設決算認定。前年度より新入所者が増えた一方、入所平均日数が短縮し、約700万円の赤字④「会計年度任用職員制度」の新設に伴う職員給与に関する条例制定⑤老健施設の食費を1日1380円から1500円に変更⑥令和元年度病院補正予算。駐車場整備等の業務委託で、6年契約で約4200万円の債務負担行為⑦令和元年度老健補正予算。330万円の増額等で、すべて賛成で可決しました。



無償運行実証実験中のグリーンズローモビリティに試乗しました

議員
研修

テーマ

公共交通の取り組みについて

昨年11月21日～22日にか
け岐阜県飛騨市、長野県
木曾町を訪れ、公共交通
の取り組みについて研修
を行いました。



飛騨市は、岐阜県の最
北端に位置する人口2万
3千人の都市で、近年は
過疎化と高齢化が大きな
課題となっており、人口
減少により民間バスが撤
退し、公共バスも運行本
数が少ないことから、自

分で運転されない高齢者
にとっては不便な地域と
なっています。

平成16年に4町村が合
併して飛騨市になった後
も旧町村の様々な運行体
系や料金体系が併存し
サービス水準に格差が存
在し交通システムの改変
が求められていました。

そのため、①運
賃体系の統一（旧
町村内の移動
200円、旧町村
をまたぐ移動3
00円）、②幹線
と支線に分かれた
公共交通体系（市
内巡回バスの廃
止）、③定期路線
とスクールバスを
併せ混乗すること
で運行経費を削
減、④利用者の制
限がない乗合タク



岐阜県飛騨市

シートの導入（1回の利用
200円、旧町村をまた
ぐ移動は300円）、⑤平
成31年4月からは、通院
支援タクシー助成券制度
を開始。70歳以上、又は
身障者手帳保持者、介護
保険の認定者であれば医
療機関受診後に利用した
帰宅時のタクシー代を1

回400円を上限に
助成など公共交通の
新体系を再編されま
した。

以前には、充実し
たサービスとして、
ボランティア有償運
送「ポニーカーシス
テム」があり、65歳
以上の高齢者や運転
免許を持っていない
成人を対象とした事
前登録型の小規模送
迎で、運転手は運転歴10

年以上の高齢者が住民ポ
ランティアとして対応さ
れていました。「ポニー
カーシステム」は、高齢
者の働く機会を作るだけ
でなく、地元の顔見知り
ドライバーとして利用者
に安心感も与えていまし
たが、運転手ボランティア
の担い手不足などを理
由に平成30年3月に廃止



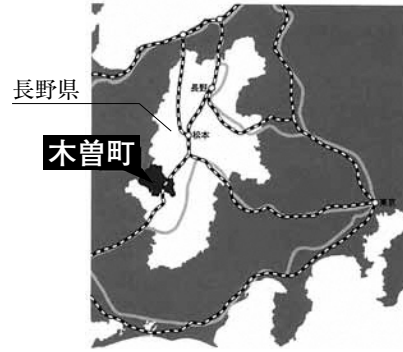
乗合タクシー（飛騨市）

されました。

このように飛騨市では、
数多くの公共交通システ
ムを再編されましたが、
地元の高齢者の中には数
あるサービスの内容をよ
く知らない人がいるなど
課題も山積していると説
明を受けました。

木曾町は、長野県の南西端、岐阜県境の位置にあり、人口は11000人、平成17年11月に4町村が合併した町で、和東町と同様、「日本で最も美しい村」連合に加盟されています。

合併前の公共交通の状況は、交通事業者による路線バス、廃止路線の代替バス、自治体コミュニティバスなど多数の交通施策が混在し、旧町村間でのサービス格差や路線



バス利用者の運賃負担が高額（最長区間の普通運賃・片道1560円）などがあった。平成18年に存続が難しくなった町内のバス路線について、新たな交通システムを立ち上げた。①旧3町村の中心部までを連絡している幹線バスは5路線あり、1回200円。②地域内の移動や幹線バスとの乗り継ぎに利用されている地域巡回バスも5路線あり、1回100円。③基幹バスや巡回バスが回れないところをカバーするデマンド乗合タクシーは、1回100円。

た。ななまるタクシーは、バスの利用が困難な高齢者（75歳以上）や障害者の方が利用登録することで、町内どこでも1回700円で送迎してもらえます。事前予約制で、乗合で予約した場合は割引もあり、タクシーの利用が比較的少ない13時から18時を利用して運行されています。

は、年々減少が続き平成30年度では、18万人弱である。事業収支については、約1億8400万円の赤字となっているが、

④新しいサービスの提供として令和元年11月に自宅から乗車できる福祉乗合タクシー（ななまるタクシー）が運行されました。



長野県木曾町

特別交付税で約8割を補てんされ、約2割の3600万円が木曾町の負担となっています。

現在の課題としては、利用者の少なさや低額運賃体系による採算性の低さ、ダイヤ改正によるバス停時刻表等更新作業の繁雑化などをあげられました。一方で、利用者の経済的負担の軽減や高齢者の外出機会の増加などプラス面もあると説明を

受けました。

両市町とも和東町と比較すると人口や財政状況、環境も異なり、同じように取り組むことは困難ですが、住民本位の多種多様なサービスに向きに取り組まれていることは素晴らしい事であり、今後の公共交通を検討する上でも有意義な研修となりました。

木曾町福祉乗合タクシー
(通称) ななまるタクシー利用案内

いつも家族に送迎してもらっていて
気後れする

荷物を持って歩くのがしんどい
バスに乗るときの段差がきつくなってきた

タクシーを利用した新しい送迎サービスの運行を行います。

サービスのポイント

- ① 一律料金700円で木曾町内どこへでも行けます
- ② 75歳以上の住民・公共交通の利用に支障がある方が事前登録することで使えます
- ③ ご自宅までタクシーがお迎えに行きます
- ④ 目的先の施設までお送りします
- ⑤ **事前予約により運行します**

ななまるタクシーの案内

まちの “元気”を 訪ねて

地域住民の思いを聞き、観光の土台づくりからやっていきたい

～地域おこし協力隊 ぬのかわ 布川 智恵子さん(柚田)～

今回は、昨年4月から地域おこし協力隊として活動していただいている布川さんにお話を伺いました。

Q 地域おこし協力隊に応募されたきっかけは？

A 京都移住コンシェルジュに登録し和東町を紹介いただき、協力隊への応募を勧められ採用されました。テレビで和東町を知り、旅行にきて、印象がとてもよかったです。日本文化であるお茶の魅力を発信していく事が夢。そんな自分の思いと一致しました。

Q 和東町に住んでみて印象は？

A 自然が多く、野生動物に怖い思いをすることもありますが、近所の方にいつも気にかけていただいている。コミュニケーションも良好で非常にうれしく思います。和東に住んでみたいという声をいただくのですが、住める家がないことにいつも直面しております。

Q どのような活動をされていますか？

A 主に観光案内所で接客業務をしています。観光案内所内のグローバル化と最適化を目標に、まずスタッフが快適に仕事ができるように変えていきたい。商品の英語表記化や記念スタンプ、目的地に誘導するアシストマップ、オリジナル手ぬぐい、観光客のマナー向上の為にマナー手ぬぐいなどを作成しました。何事においても町民生活があることを意識し取組むこと

が大切だと思っております。

Q 今後どのような活動していきたいと考えられますか？

A 和東町に來られて和東茶を飲ま

ずに帰られる方もいます。飲んでいただく工夫や買っていただく仕組みづくりにも取組みたい。生業と自分の思いがつながり、町に不足しているもので形にでき、貢献できるものがないか、今は模索中です。

Q 観光担当として感じておられることは？

A 人を呼ぶこと、来てもらうことが観光と想ってましたが、観光客が増えてもパニックにならないように観光のベースをまずつくるのが大切と感じました。住民の方と双方で信頼関係を築いていきたいし、自分の基盤づくりが必要ですね。和東に来て良かったと思っただけのように取り組んでいきたいです。

(取材 岡本正意・畑武志)



編集後記

新元号の「令和」もすっかり耳慣れた今日この頃、新時代は急激に動き始めました。

先日全国で、1,200万人が新成人に、出生数は昨年、86万人でした。人口減少と高齢化が一段と進み、色々なところで切実な問題が生まれています。年金、介護保険などの社会保障制度は、年々厳しくなり、最近の台風や豪雨、猛暑などの異常気象も私たちに大きな不安を与えています。今、社会制度も地球環境も曲がり角にきています。

そんな中で、「世界」、「日本」、「京都」の、そして最も大切な「和東町」の動きに時代の変化を見逃さず、声を発することが大事だと思っております。

今回の議会だよりは、12月議会を中心に審議された内容を編集しました。是非みなさんに多方面からご覧いただき、貴重な声をいただければ幸いです。

(畑 武志)

広報編集委員会

- 委員長 岡本正意
- 副委員長 井上武津男
- 委員 高山豊彦
- 委員 畑武志
- 委員 岡田勇

第1回定例会は、3月10日開催予定。傍聴にお越しく下さい。